



「出向く活動」

結集力の強化へ！ 私たちがJAの

JAは自己改革の一環として、TACや営農指導員、担い手金融リーダー、LA（ライフアドバイザー）などが一丸となり、組合員宅を訪問し対話を大切にしている「出向く活動」を積極的に進めています。そして、組合員や法人への専門的で質の高いサービスの提供に取り組んでいます。

また、結集力・つながりをより強固なものにするため、今年度から「出向く活動」に取り組む人員を増やすなど、さらなる組合員との関係強化に努めています。今後も、支店や営農部署とも連携し、課題解決に向けて取り組んでいきます。

今回の特集では、JAの各事業における「出向く活動」の内容を紹介いたします。

～各事業の「出向く活動」～



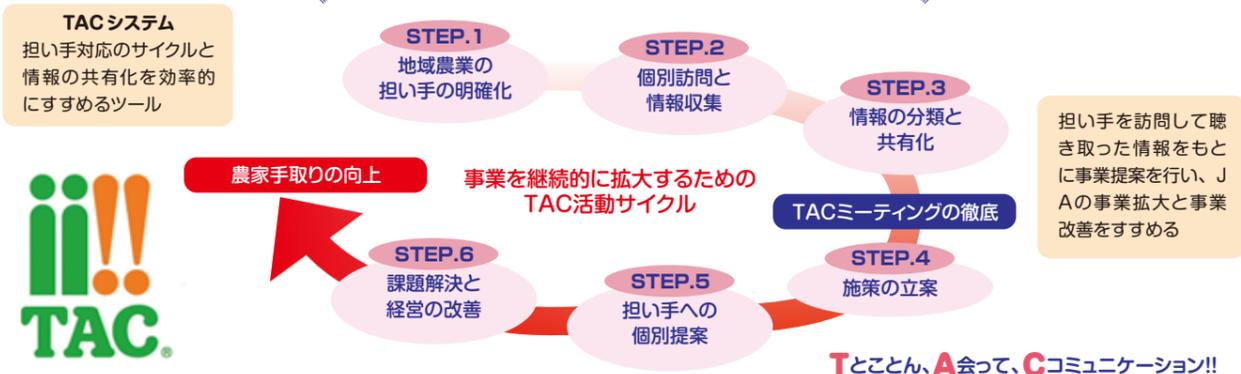
TAC

営農部西和賀地域営農グループ営農振興課
高橋 望 (38)

TACとは…?

TACとは、地域農業を担っていく農業経営体、つまり「地域農業の担い手」を訪問し、担い手の意見や要望をJAの事業に反映させ地域農業の発展を支援していく活動です。TACの活動は、農業生産振興や担い手の経営改善に資する資材・技術の提案、農産物の販路拡大といった取り組みから、労働力支援や事業承継支援など、地域農業の維持発展に向けた活動にまで拡大しています。

TACの担い手対応の「手順」



情報収集のアンテナを高く張る

TACとして3年目。担い手に営農技術や生産資材の推進を行い、担い手の要望や意見をJAの事業に反映させる仕事をしています。

初めの頃は、営農技術の知識があまりなく、各営農の担当者や担い手金融リーダーと一緒に出向き、学びました。普段から担当以外の内容の質問でもお話を聞いて担当者に確認し、回答するように努めています。JA事業と担い手を結び付けることにやりがいを感じています。常に情報把握をしっかりするように努め、「情報収集のアンテナを高く張る」ことを大切に日々活動しています。

今後も、担い手の所得増大と生産の拡大を目指し、一人ひとりに添った新しい技術の提案や生産資材の推進などをしていきます。



一人ひとりに添った提案や推進をしています！